

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標	
学校教育目標実現に努め、活力と魅力ある、信頼される学校・行かせたい学校づくりを推進します。	
<ul style="list-style-type: none"> ・児童自らが課題を見付け、主体的・対話的で深い学びになるような授業づくりを行います。 ・だれもが安心して豊かに生活できる学校づくりを進めます。 ・小中一貫教育推進ブロックの学校・家庭・地域との連携を深め、子どもの規範意識や社会性を育成します。 ・全職員が主体的に学校運営に参画し、「チーム朝比奈」として情熱と活気ある学校運営組織の確立を推進します。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①年間を通した「あおぞら活動」(たてわり活動)で、児童が互いの個性を認め、思いやる心や自他との関わり方について学ぶ。 ②道徳の授業や「人権標語づくり」「人権講話」等を通して、児童の人権意識を高める。また、人権教育授業参観などを利用して保護者との連携を図る。
担当	人権・道徳 教育部会	

2 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」に関わる課題)

- ・自然が豊かで地域とのつながりも深いため、学習環境に恵まれている。子どもたちは、一生懸命に物事に取り組み、友達や家族との約束を守っている。しかし、自分から挨拶をすることがやや苦手で、自分に自信がなく自己肯定感が低い傾向が見られる。また、様々な課題を抱えた児童がいる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育 (必須項目)

- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に、年1回以上公開する。
授業を公開することで、地域・家庭・学校が、道徳教育を通して子どもたちの豊かな心の育成についての共通理解を図る。
- ・道徳教育全体計画、別業、年間指導計画の見直しと活用。
子どもたちの実態や様々な環境に合わせて、毎年、見直しを行っていき、更新していく。
- ・懇談会で道徳についての話をして、家庭との共通理解を図る。

【項目 自分づくり教育(キャリア教育)】

- ・「あおぞらタイム」という縦割り活動を行い、高学年がリーダーとしての意識がもてるようにする。また、異学年による交流を通して、グループ内で互いを思いやる気持ちや協力しようとする気持ちを育てる。
- ・地域と連携した体験活動を充実させる。
(公園の清掃活動や花植え体験、地域の方によるお話会や本の宅配などによる読書活動の充実)